

# MACHI

界隈の探求

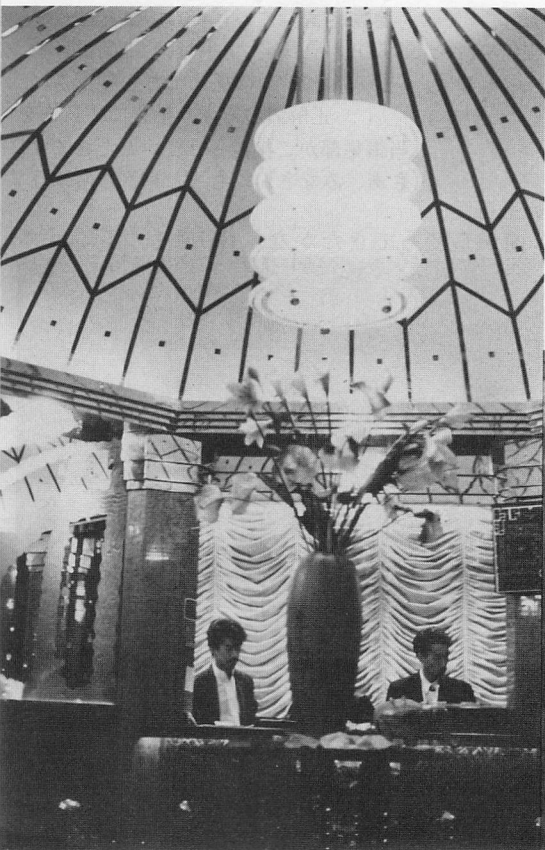
京都はもちろん京都である。世界、日本、京都。その京都の中にも様々な街(マチ)がある。紫竹、錦、祇園、大手筋、七条、西賀茂、島原……行くさきざきでその街風が感じられれば

## いつも錦は師走である。

京の台所、錦市場。昔の人はうまくキャッチコピーをつけたものだ。萬流コピー塾でなら梅というところか。錦市場、正確にはアーケードのある錦小路は道巾が素晴らしい。約3m程の道巾に魚屋、八百屋などの各店が50cm~60cm位せりだして大人4人が並んで歩けぬ道巾となる。当然、魚や野菜との間が近くなり、ストリートそのものが魚屋さんの中の通路と化す。そして、思うように歩けないのも売上を向上させている。アーケードの色もおいしい色だ。錦は付加価値?の高い食材が目玉である。したがって素人から見ればちょっと高いと感じるかも知れない。アーケードの西側の錦は昼めし屋に注目だ。どの店もかなりレベルが高いし、どの店にも証券新聞、投資関係の新聞があるのもおもしろい。錦はなんとなくこたつを連想させる所である。(ニッカコーヒーもポイントである)。



# MISE

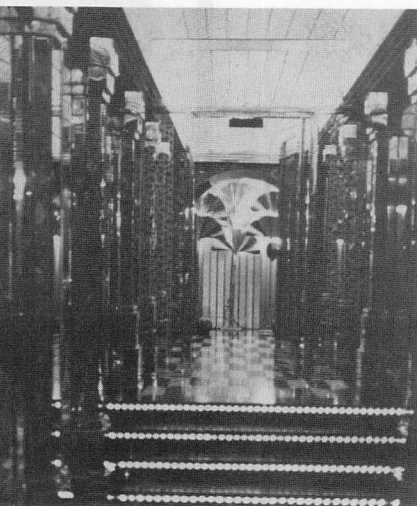


### 解説者その1

ディスコのウェイター、それもマハラジャの、となると今や“花形”である。あのおいしい奴らはいったい何者なのだろうか。ここに2人の大学生がいる。一人はファッションセンス抜群で、化粧映えしそうな男前、大阪学院大在学中。もう一人は地味でバツとしないが皮むけたら、という立命館。ウェイターに採用されるのは後者であるという。マハラジャは、ディスコ界のNTTなのである。高学歴社会なのである。マハラジャ京都には、京都のいい女が集まった。マハラジャ祇園には京阪神のいい女、それも“若い”女が集まっている。学歴に自信のあるあなた、学歴なんて関係ない、というハンサムなあなた、マハラジャ祇園のウェイターになってみませんか。アルバイトニュースを3ヶ月も見続ければ、必ず募集広告がのっかっていますから。

### 解説者 その2

“京に咲く”見事なコピーである。去年のちょうど今頃、京都の若者は、新しいマハラジャのネーミングの話題で盛りあがっていた。シンプルに“マハラジャ2”、東京の意識して“マハラジャイースト”(あるいはウエスト)東洋一の広さをほこったディスコの名前を消えさすのは忍びない、ということで“マハラジャンボ”……。美容師の卵で決まてかわいいたとは言えない彼女は言ったものである。祇園にできんにやし、マハラジャ祇園でええやん。その時は、結構、笑えたのであるが、先のコピーと、市丸さんかと思ごうほどの美しい舞妓さんとメイクした男の写真がならんだポスターを見てからは誰も笑わなくなった。今では連日超満員で、神戸、大阪からもいい女がやってきている。泣く子もだまるマハラジャ。多分、どんな名前がついていてもこうなっていたにちがいない。



### 解説者 その3

VOXビルの前あたりでたむろし、チャイナにおいていきそうな女の子たちに声をかけいっしょに入る。後は野となれ山となれよくわからないが、そういう経験を積んだ高校生は、やがて西へと向かう。サウナに行く水商売のおねえさんに声をかけてしまったり、慶州のフィリピンダンサーにげん顔をされたり、マハラジャ祇園は、そういう哀愁を受継いで、やはり雑居ビルの中に来た。東京のマハラジャがどうのこうのいっても、やはりこれがディスコ、マハラジャである。内装はすばらしい、ウェイターもそのユニフォームもかっこいい。しかし、なんといっても、そのロケーションが最高にいい。困ったことと言えば、ビルの入口が声をかけるには少々明るすぎることで、祇園会館のオールナイトを見に行くとき、あまりきたないかこうをしていけなくなったこと位である。